

畜産経営指導支援事業実施要領

一般社団法人 北海道酪農畜産協会
令和5年3月14日 制定

第1 趣旨

北海道の酪農・畜産は、経営者自らの努力と、農業協同組合、農業改良普及センター、地方自治体等の関係機関・団体（以下「農協等」という。）の指導支援等により発展し、国内への畜産物の供給のみならず、幅広い関連産業とともに、地域の雇用や経済を支える重要な基幹産業として大きな役割を果たしている。

しかし、近年、経営者の高齢化や後継者不在等による農家戸数の減少、家族経営や規模拡大を支える営農支援組織の労働力不足、進展する国際化等への対応が課題となっており、酪農・畜産を取り巻く情勢が不透明な状況にある中、今後の酪農・畜産経営が持続してくためには、生産者個々の経営体質の強化が求められている。

このため、一般社団法人北海道酪農畜産協会（以下「協会」という。）は、酪農経営及び肉用牛経営（以下、「畜産経営」という。）の経営分析・総合診断により経営課題の把握に努め、農協等と連携し効率的・効果的な指導助言を行い、畜産経営の体質強化を図っていく。

さらに、経営分析・総合診断により得られた畜産経営情報を分析し、広く発信することにより、農協等における畜産経営に対する指導支援の強化に取り組んでいく。

第2 事業内容

協会は、北海道の畜産経営のうち、経営支援を特に必要とする対象（以下、「支援対象経営」という。）を選定し、協会の経営分析や総合診断の手法を用いて以下の事業に取り組む。

1 酪農経営分析（簡易分析）

協会が開発、運用する「酪農経営支援システム」により、支援対象経営の生乳出荷データ、組合員勘定等の収支データ及び牛群検定成績等の生産技術データを統合・集計し、比較分析及び地域酪農経営の傾向分析等を行うほか、分析結果について農協等に説明する。

2 総合診断

支援対象経営について、生産原価、収益性、安全性、生産技術等の分析により経営状況を総合的に診断し、その結果に基づき農協等と対処方針及び改善対策を検討するほか、支援対象経営に対する指導助言を行う。

3 フォローアップ

2の指導助言後に、支援対象経営の経営改善をより推進するため、農協等と連携して、経営改善状況の確認及び改善対策の見直しを行うほか、支援対象経営に対する指導助言を行う。

4 シミュレーション

家畜増殖、生産・販売、収支及び新規投資等のシミュレーションを行い、経営改善計画策定の支援を行う。

5 モニタリング

家畜増殖、生産・販売、収支等を定期的にモニタリングし、必要に応じてアラートを発信するほか、現地にて指導助言を行う。

6 研修会等支援

農協等が開催する畜産経営に関する検討会及び研修会等を支援するため、協会職員を派遣する。

7 畜産経営情報の発信

1及び2で実施した経営分析結果を集計し、広く発信する。

第3 事業対象者

第2の1～6の事業対象者は原則として、以下の要件を満たす農協等とする。ただし、第2の2～5については特別な事情がある場合、個別畜産経営であっても事業対象者とするが、以下の要件のうち2の1)、3の1)、4の1)、5の1)及び2)を満たすものとする。

1 酪農経営分析（簡易分析）

支援対象経営につき、別表1の酪農経営分析に必要な経営データの収集及び協会への提供が可能であること。

なお、支援対象経営は生乳を生産する酪農経営に限る。

2 総合診断

1) 支援対象経営につき、別表2の総合診断に必要な経営データの収集及び協会への提供が可能であること。

2) 協会による現地調査の際に、支援対象経営との連絡調整及び担当者の随行が可能であること。

3) 支援対象経営に関する検討及び現地指導を主体的に取り組めること。

3 フォローアップ

1) 支援対象経営につき、当年度または前年度に第2の2の総合診断を実施

していること。

2) 支援対象経営に関する検討及び現地指導を主体的に取り組めること。

4 シミュレーション

1) 支援対象経営につき、当年度または前年度に第2の2の総合診断を実施していること。

2) 協会による現地訪問の際に、支援対象経営との連絡調整及び担当者の随行が可能であること。

5 モニタリング

1) 支援対象経営につき、別表3のモニタリングに必要な経営データの収集及び協会への提供が可能であること。

2) 協会がアラートを発信した際、速やかに現地にて経営状況を把握し、協会に報告できること。

3) 協会による助言指導の際に、支援対象経営との連絡調整及び随行が可能であること。

6 研修会等支援

1) 当年度につき、第2の1～5のいずれかの事業対象者であること。

2) 検討会及び研修会等を主体的に開催できること。

第4 事業推進

協会は、北海道並びに関係団体と連携し事業の推進を行うこととし、北海道並びに関係団体は、協会の依頼に基づき、農協等に対し、事業内容の周知に努める。

第5 事業申込

農協等が第2の1～6の事業を要望する場合は、協会会長が別に定める期日までに別紙様式第1号の畜産経営指導支援事業申込書を協会会長に提出するものとし、個別畜産経営が第2の2～5の事業を要望する場合も同様とする。

第6 実施決定

協会は、農協等から提出された畜産経営指導支援事業申込書に記載されている申込件数、申込理由、目的等を審査し、事業実施を決定し、別紙様式第2号の畜産経営指導支援事業実施決定通知書により事業対象者に通知する。

第7 変更または中止

事業対象者が第6で実施決定した事業を変更または中止する場合は、別紙様式第1号の畜産経営指導支援事業申込書に準じて、変更または中止内容を記載し、協会に申請する。

協会は、事業対象者から事業の変更または中止について申請があった場合、改めて審査、事業実施を決定し、別紙様式第2号により事業対象者に通知する。

第8 同意確認

第6により事業対象者となった農協等は、必要に応じて支援対象経営が協会に経営データを提供することの同意を確認することとし、別表4に示す様式を参考に同意書を整備し、協会に提出する。

事業対象者が個別畜産経営の場合は、自ら別表4に示す様式を整備し、協会に提出する。

第9 事業実施

協会は、第2の事業について、以下のとおり実施する。

1 酪農経営分析（簡易分析）

- 1) 協会が運用する酪農経営支援システムについては、分析及び情報提供に係る事項等を別途「酪農経営支援システムの運用について」に定める。
- 2) 別表1の酪農経営分析に必要なデータを事業対象者から提供を受ける。
- 3) 提供されたデータを取りまとめ、分析結果を事業対象者に提供する。
- 4) 必要に応じて、事業対象者に経営分析結果の見方を説明する。

2 総合診断

- 1) 別表2の経営診断に必要なデータを事業対象者から提供を受ける。
- 2) 提供されたデータ等を取りまとめ、支援対象経営に対する現地調査を1回行う。
- 3) 現地調査結果を取りまとめ、各種分析・総合診断を行う。
- 4) 総合診断結果に基づき、事業対象者と支援対象経営に係る対処方針及び改善対策を検討し、現地にて事業対象者と連携した指導助言を1回行う。

3 フォローアップ

- 1) 第2の2の指導助言後に、事業対象者が行う支援対象経営に係る検討会及び現地指導等に参加し、指導助言を行う。
- 2) 支援対象経営につき第2の2の総合診断の実施年度より起算し、2ヵ年度以内に行うものとする。

4 シミュレーション

- 1) 第2の2の指導助言後に、事業対象者及び支援対象経営と具体的な改善対策を検討し、家畜増殖、生産・販売、収支及び新規投資等について中長期的なシミュレーションを行う。
- 2) シミュレーション結果を事業対象者及び支援対象経営に示す。
- 3) 支援対象経営につき第2の2の総合診断の実施年度より起算し、2ヵ年

度以内に行うものとする。

5 モニタリング

- 1) 別表3のモニタリングに必要なデータを事業対象者から提供を受ける。
- 2) 支援対象経営の飼養家畜の増減、生産・導入・販売実績、収支等を定期的にモニタリングし、事業対象者及び支援対象経営に報告する。
- 3) モニタリング結果により、事業対象者及び支援対象経営にアラートを発信する。
- 4) アラートを受信した事業対象者は、支援対象経営或いは自らの状況把握に努め、協会に報告する。
- 5) 年2回の定期的な現地確認及び指導助言を行うほか、必要に応じて不定期に現地確認及び指導助言を行う。

6 研修会等支援

事業対象者が開催する検討会及び研修会等に事業対象者からの求めにより、協会の職員を派遣する。

7 畜産経営情報の発信

- 1) 第2の1及び2で実施した経営分析結果について、年次毎に集計する。
- 2) 集計結果について、冊子にて関係者に配布する他、協会ホームページにて広く公開する。

第10 実施報告

協会は、第2の事業実施結果について、事業対象者に別紙様式第4号の畜産経営指導支援事業実施報告書により報告する。

第11 負担金

- 1 協会は、第2の事業実施に係る費用の一部を事業対象者に負担を求めることとし、負担金額等を別表4に定める。
- 2 協会は、第10の実施報告後、事業対象者に対し別紙様式第5号の畜産経営指導支援事業負担金請求書にて負担金の請求を行うものとする。
- 3 事業対象者は、2の請求に基づき、協会が指定する口座に振り込みにて負担金を支払うものとする。

別表1 酪農経営分析（簡易分析）に必要な経営データ

データの種類	備考
クミカン取引明細データ（分析対象年次）	北農電算4次：標準型（CSV）等
年間出荷乳量・乳脂肪率・無脂固形分率	バルク乳旬報等
牛群検定成績データ（乳検参加経営のみ）	北海道酪農検定検査協会が保有するデータ

別表2 総合診断に必要な経営データ

データの種類	備考
クミカン取引明細等取引がわかるもの	北農電算4次：標準型（CSV）等
クミカン営農管理報告票	年末の経営収支がわかるもの
飼養牛個体識別データ	ホルスタイン農協等が保有するデータ
牛群検定成績表（乳検参加経営のみ）【酪農】	北海道酪農検定検査協会が保有するデータ
月次出荷乳量・乳成分・販売価格等【酪農】	バルク乳旬報、生乳代金精算書等
繁殖台帳【肉用牛繁殖】	協会が保有するデータ
授精台帳【肉用牛繁殖】	生産者が保有する資料
牛個体導入・販売価格がわかるもの	導入・販売牛の個体識別番号と価格
資産・負債・損益・所得がわかるもの	青色申告書、決算書等
労働力、土地等の状況がわかるもの	営農計画書等
期首と期末の負債状況がわかるもの	償還計画表等
リース資産の状況がわかるもの	クラスター、楽酪、畜近等の償還表等
建物、機械、牛の取得年月、取得価格、償却期間等がわかるもの	固定資産台帳及び育成家畜棚卸台帳等（青申、決算書の付表）
購入飼料の内容・数量がわかるもの	飼料取引明細、飼料成分（DM・TDN・CP）

別表3 モニタリングに必要な経営データ

経営データの種類	備考
月次導入・販売牛データ	導入・販売牛の個体識別番号と価格
牛群検定成績表（参加者のみ）	北海道酪農検定検査協会が保有するデータ
月次出荷乳量・乳成分・販売価格等	バルク乳旬報、生乳代金精算書等
クミカン取引明細等取引がわかるもの	クミカン、総勘定元帳等のデータ

別表4 経営データ提供に関する同意書

事業区分	様式	備考
第2の1	別紙様式第3号-1	分析結果を支援対象経営に配布する場合は必須。 過去に提出している場合は不要。
第2の2	別紙様式第3号-2	必須。酪農経営用と肉用牛経営用があることに留意。 過去に提出している場合は不要。
第2の3及び4	別紙様式第3号-2を準用	過去に別紙様式第3号-2を提出している場合は不要。
第2の5	別紙様式第3号-3	過去に提出している場合は不要。
	独立行政法人家畜改良センター牛 個体識別全国データベース利用規 程に定められた「同意書」	独立行政法人家畜改良センターが本協 会にデータ提供をする同意。

※独自様式を使用して同意確認した場合は、その写しを添付すること

別表5 負担金額

事業区分	事業実施内容	負担金額（消費税込）
第2の1	<ul style="list-style-type: none"> ● 酪農経営分析、結果の提供 ● 見方の説明（必要に応じて） 	無料
第2の2	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種分析による総合診断 ● 農協等と連携した対処方針及び改善対策の検討、現地指導助言 	1件当たり 55,000 円 ※事業実施者が個別畜産経営の場合は、 1件当たり 110,000 円
第2の3	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合診断及び指導助言後のフォローアップ 	1回当たり 33,000 円/件 ※リモートで実施する等、出張が伴わない場合は無料
第2の4	<ul style="list-style-type: none"> ● 家畜増殖、生産・販売、収支及び新規投資等のシミュレーション 	1件当たり 55,000 円
第2の5	<ul style="list-style-type: none"> ● モニタリング ● アラートの発信 ● 定期的な現地確認（年2回） ● 不定期的な現地確認（必要に応じて） 	【月毎の実施の場合】 1件当たり 264,000 円/年 【四半期毎の実施の場合】 1件当たり 220,000 円/年 ※現地確認（年2回）の費用を含む ※不定期的な現地確認を実施する場合は、第2の3に準じた額を負担
第2の6	<ul style="list-style-type: none"> ● 検討会及び研修会等に係る本協会職員の派遣 	1回当たり 33,000 円 ※リモートで実施する等、出張が伴わない場合は無料

別紙様式第1号

令和 年度畜産経営指導支援事業申込書

年 月 日

一般社団法人北海道酪農畜産協会
会 長 ○ ○ ○ ○ 様

[農協等または個別畜産経営名]

[代表者名]

このたび、畜産経営指導支援事業実施要領を承諾し、同要領第2の事業に申し込みたいので、同要領第5の規定に基づき、下記のとおり申し込みます。

記

申込者（農協等担当者または個別畜産経営名）

所属・役職		氏名	
電話番号		メールアドレス	

1 酪農経営分析（簡易分析）

1) 支援対象経営

ケガ CD (※1)	乳検 CD (※2)	該当する場合○					備考
		法人 (※3)	放牧 (※4)	TMRC (※5)	複合部門		
					耕種	畜産	

※1 必須項目

※2 牛群検定事業に参加の場合に記入（略さず7桁数字を入力、不参加は空欄）

※3 一戸法人等で個人経営として分析する場合は記入しない

※4 搾乳牛が採食している場合（育成・乾乳牛のみを放牧する場合は記入しない）

※5 分析対象年に TMR センターから定期的に飼料の供給を受けている場合

※6 欄が不足する場合は別葉にて整理

2) 分析結果提出希望時期 _____年_____月頃まで

3) 分析結果の見方の説明 希望する ・ 希望しない ※いずれかに○

2 総合診断

支援対象 経営名	経営 類型 (※1)	経営 規模 (※2)	住所	個体識別 農家 ID (※3)	申込理由 (※4)	経営課題 (※5)	現地調査 可能時期 (※6)	指導助言 希望時期 (※7)

- ※1 「酪農」「肉用牛繁殖」「肉用牛肥育」等と経営類型がわかるように記載
- ※2 頭数規模（経産牛頭数、繁殖雌牛頭数、肥育牛常時飼養頭数等）、粗飼料面積（牧草、デントコーン等）、労働人数（家族労働人数、雇用労働人数等）を記載
- ※3 （独）家畜改良センターに登録している農家コード（複数ある場合は全て記入）
- ※4 申込に至った理由を簡潔に記載（例：後継者に経営状況を把握してもらうため）
- ※5 農協等からみた支援対象経営の課題を記載（例：経営コストが高い）
（農協等が過去に実施した指導内容が記載された内部報告書等の写しの添付可）
- ※6 現地調査可能時期を記載（牧草収穫時期等繁忙期は避けます）
- ※7 協会が総合診断結果をもって指導助言を実施してほしい時期を記載

3 フォローアップ

支援対象 経営名	総合診断 実施年度 (※1)	協会の 支援方法 (※2)	実施予定 回数 (※3)	実施予定 時期 (※4)

- ※1 総合診断と同年度の実施を希望する場合は、実施予定年度を記載
- ※2 「現地指導参加」「検討会リモート参加」等、協会の出張の有無がわかるよう記載
- ※3 当年度に実施する予定回数を記載
- ※4 当年度に実施する予定時期を記載（複数回希望の場合は、それぞれの予定時期を記載）

4 シミュレーション

支援対象 経営名	総合診断 実施年度 (※1)	シミュレーションの目的 (※2)	実施希望 時期 (※3)

※1 総合診断と同年度の実施を希望する場合は、実施予定年度を記載

※2 「新規投資に係る資金計画の作成」など

※3 経営改善計画策定が必要な時期等を記載（資金借入のための期限がある場合など、優先的に取り組むよう調整します）

5 モニタリング

支援対象 経営名	決算期末月 (※1)	開始希望 年月	モニタリングに必要な データ提供方法(※2)		定期的な 現地確認 希望時期 (※3)
			導入・販売	収支	

※1 個人経営の場合は12月、法人経営の場合は決算期末月を記載

※2 データの提供元（JA等）、データの種類（エクセル、PDF、FAX等）を記載

※3 年2回の現地確認の概ねの時期を記載

6 研修会等支援

実施区分 (※1)	対 象 (※2)	内 容 (※3)	開催予定時期 (※4)

※1 検討会、研修会、勉強会等を記載

※2 農協職員、酪農経営者（〇〇部会）等、対象者を記載

※3 経営分析・診断結果に関する内容だが、生産技術面でも内容によっては対応できる可能性があるため、応相談

※4 概ねの開催予定時期を記載

令和 年度畜産経営指導支援事業実施決定通知書

年 月 日

[農協等または個別畜産経営代表者] 様

一般社団法人 北海道酪農畜産協会
会 長 ○ ○ ○ ○

年 月 日付けで申込があった令和 年度畜産経営指導支援事業について、下記のとおり実施することに決定したので、畜産経営指導支援事業実施要領第6の規定に基づき通知します。

記

1 決定事項

事業区分	事業内容	支援対象経営	実施予定 時期	協会 担当者	備 考

2 留意点等

- 1) 酪農経営分析、総合診断及びモニタリングについては、同要領別表1、別表2及び別表3のデータ提供をお願いします（協会担当者が別途連絡いたします）。
- 2) 協会担当者からの依頼により、現地調査及び現地での指導助言等に係る調整をお願いします。

酪農経営分析（簡易分析）に係る経営データ提供に関する同意書

年 月 日

一般社団法人 北海道酪農畜産協会会長 様

住 所 _____

氏名又は名称 _____ 印

クミカンコード _____

私は、一般社団法人北海道酪農畜産協会が下記1の目的で使用するために、下記2の経営データを提供することについて同意します。

また、協会が私の経営分析結果を畜産経営指導支援事業実施要領第2の7の集計分析に使用することに同意します。

記

1 目的 畜産経営指導支援事業実施要領第2の1の酪農経営分析（簡易分析）

2 提供する経営データ等

NO	経営データの種類	備考
1	クミカン取引明細データ（分析対象年次）	北農電算4次：標準型（CSV）等
2	年間出荷乳量・乳脂肪率・無脂固形分率	バルク乳旬報等
3	牛群検定成績データ（乳検参加経営のみ）	北海道酪農検定検査協会保有のデータ

※1 複数の酪農経営から同意確認する場合は、住所及び氏名又は名称欄に「別記のとおり」と記載し、別紙様式3号-1の別記に必要事項を記載、押印の上、添付すること

※2 本様式の外、牛群検定成績データ取得のため、乳検組合が北海道酪農検定検査協会に提出する同意書を整備願います

別紙様式第3号-1の別記

酪農経営分析に係る経営データ提供に関する同意書の別記

NO	同意年月日	同意者住所	同意者 氏名又は名称	同意者 クミカン CD	印
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※欄が不足する場合は別葉にて整理

総合診断に係る経営データ提供に関する同意書（酪農経営）

年 月 日

一般社団法人 北海道酪農畜産協会会長 様

住 所

氏名又は名称

印

私は、一般社団法人北海道酪農畜産協会が下記1の目的で使用するために、下記2の経営データを提供することについて同意します。

また、協会が私の総合診断結果を畜産経営指導支援事業実施要領第2の7の集計分析に使用することに同意します。

記

1 目的 畜産経営指導支援事業実施要領第2の2に係る総合診断

2 提供する経営データ等

NO	データの種類	備 考
1	クミカン取引明細等取引がわかるもの	北農電算4次：標準型（GSV）等
2	クミカン営農管理報告票	年末の経営収支がわかるもの
3	飼養牛個体識別データ	ホルスタイン農協等が保有するデータ
4	牛群検定成績表	牛群成績、個体検定日成績、個体累計成績
5	月次出荷乳量・乳成分・販売価格等	バルク乳旬報、生乳代金精算書等
6	牛個体導入・販売価格がわかるもの	導入・販売牛の個体識別番号と価格
7	資産・負債・損益・所得がわかるもの	青色申告書、決算書等
8	労働力、土地等の状況がわかるもの	営農計画書等
9	期首と期末の負債状況がわかるもの	償還計画表等
10	リース資産の状況がわかるもの	クラスター、楽酪、畜近等の償還表等
11	建物、機械、牛の取得年月、取得価格、償却期間等がわかるもの	固定資産台帳及び育成家畜棚卸台帳等（青申、決算書の附表）
12	購入飼料の内容・数量・成分がわかるもの	飼料取引明細、飼料成分（DM・TDN・CP）

経営診断に係る経営データ提供に関する同意書（肉用牛経営）

年 月 日

一般社団法人 北海道酪農畜産協会会長 様

住 所 _____

氏名又は名称 _____ 印

私は、一般社団法人北海道酪農畜産協会が下記1の目的で使用するために、下記2の経営データを提供することについて同意します。

また、協会が私の総合診断結果を畜産経営指導支援事業実施要領第2の7の集計分析に使用することに同意します。

記

1 目 的 畜産経営指導支援事業実施要領第2の2に係る総合診断

2 提供する経営データ等

NO	データの種類	備 考
1	クミカン取引明細等取引がわかるもの	北農電算4次：標準型（GSV）等
2	クミカン営農管理報告票	年末の経営収支がわかるもの
3	飼養牛個体識別データ	農協等が保有するデータ
4	繁殖台帳	本協会が保有するデータ
5	牛個体導入・販売価格がわかるもの	導入・販売牛の個体識別番号と価格
6	資産・負債・損益・所得がわかるもの	青色申告書、決算書等
7	労働力、土地等の状況がわかるもの	営農計画書等
8	期首と期末の負債状況がわかるもの	償還計画表等
9	リース資産の状況がわかるもの	クラスター、楽酪、畜近等の償還表等
10	建物、機械、牛の取得年月、取得価格、償却期間等がわかるもの	固定資産台帳及び育成家畜棚卸台帳等（青申、決算書の附表）
11	購入飼料の内容・数量・成分がわかるもの	飼料取引明細、飼料成分（DM・TDN・CP）

モニタリングに係る経営データ提供に関する同意書

年 月 日

一般社団法人 北海道酪農畜産協会会長 様

住 所 _____

氏名又は名称 _____ 印

私は、一般社団法人北海道酪農畜産協会が下記1の目的で使用するために、下記2の経営データを提供することについて同意します。

記

1 目 的 畜産経営指導支援事業実施要領第2の5に係るモニタリング

2 提供する経営データ等

NO	経営データの種類	備 考
1	月次導入・販売牛データ	導入・販売牛の個体識別番号と価格
2	牛群検定成績表（参加者のみ）	北海道酪農検定検査協会が保有するデータ
3	月次出荷乳量・乳成分・販売価格等 （酪農経営のみ）	バルク乳旬報、生乳代金精算書等
4	クミカン取引明細等取引がわかるもの	クミカン、総勘定元帳等のデータ

※本様式の外、牛個体識別データ取得のため、独立行政法人家畜改良センター宛ての同意書を提出願います

令和 年度畜産経営指導支援事業実施報告書

年 月 日

[農協等または個別畜産経営代表者] 様

一般社団法人 北海道酪農畜産協会
会 長 ○ ○ ○ ○

年 月 日付けで実施決定した令和 年度畜産経営指導支援事業について、
畜産経営指導支援事業実施要領第10の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 実施実績

事業区分	事業内容	支援対象経営	備 考

2 協会所見

事業内容	支援対象経営	所 見

令和 年度畜産経営指導支援事業負担金請求書

年 月 日

[農協等または個別畜産経営代表者] 様

札幌市中央区北4条西1丁目1番地
 一般社団法人 北海道酪農畜産協会
 会 長 ○ ○ ○ ○
 (登録番号: *****)

年 月 日付で実施報告した令和 年度畜産経営指導支援事業について、
 畜産経営指導支援事業実施要領第11の規定に基づき、下記のとおり請求します。

記

1 負担金請求額 税込合計金額 ￥○○,○○○-

【請求内訳】

事業区分	事業内容	支援対象経営	単価	回数	負担金額	消費税 (10%)
			円	回	円	円
			円	回	円	円
計					円	円

2 振込先

金融機関名：北洋銀行 北七条支店
 預金種類：普通
 口座番号：3426417
 口座名義：一般社団法人 北海道酪農畜産協会
 (イッパソジャダノホウジン ホッカイドウラクノウチクサンキョウカイ)

3 振込期限 年 月 日